スイセン

花言葉	自己愛／尊敬

香りを束ねる“Scented Bouquet”
雪のような純白をあつめて

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 涼しいところに飾ると長く楽しめます。
■ 乾切り戻して水道水に飾るだけでOKな手間いらずの花です（切り花栄養剤を入れると葉が黄色くなりやすくなります）。

お家で簡単！ 3ステップアレンジ

①あわせて5、6本のスイセン、スイートピー、スプレーストックを短めにカットします。ストックの葉の水に浸かる部分はあらかじめ取り除きます。
②ミニブーケのように小さく束ね、麻ヒモなどでまとめます。球根花の茎は柔らかいので茎を潰さないように気をつけましょう。
③そのままグラスなどに飾ってもよし、リボンを結んで香りのプチギフトにするのもおすすめです。
※スイセンは、根元の袴（はかま）と呼ばれる表皮で葉がまとまっているので、葉も使いたい場合は、袴を短くしすぎないようにカットすると花と葉がバラバラになりません。

凛と咲く清々しい香り

厳しい寒さの中、早春を告げる花。「雪中花」とも。世界最古の歴史を持つ球根植物で、さまざまなタイプの花姿や香りを楽しむことができます。1月、ヨーロッパの街角の花店には春の香りの花々を束ねた“Scented Bouquet”が並びます。学名「Narcissus」はギリシャ神話の美少年の名に由来、“ナルシスト”の語源という話は有名。

使っている花 ■ スイセン「ペーパーホワイト」、スイートピー「パールホワイト」、ストック「ホワイトカルテット」
WEEKEND FLOWER
1 月
January

スイセン

花言葉	自己愛／尊敬

香りを束ねる“Scented Bouquet”
雪のような純白をあつめて

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 涼しいところに飾ると長く楽しめます。
■ 乾切り戻して水道水に飾るだけでOKな手間いらずの花です（切り花栄養剤を入れると葉が黄色くなりやすくなります）。

お家で簡単！ 3ステップアレンジ

①あわせて5、6本のスイセン、スイートピー、スプレーストックを短めにカットします。ストックの葉の水に浸かる部分はあらかじめ取り除きます。
②ミニブーケのように小さく束ね、麻ヒモなどでまとめます。球根花の茎は柔らかいので茎を潰さないように気をつけましょう。
③そのままグラスなどに飾ってもよし、リボンを結んで香りのプチギフトにするのもおすすめです。
※スイセンは、根元の袴（はかま）と呼ばれる表皮で葉がまとまっているので、葉も使いたい場合は、袴を短くしすぎないようにカットすると花と葉がバラバラになりません。

凛と咲く清々しい香り

厳しい寒さの中、早春を告げる花。「雪中花」とも。世界最古の歴史を持つ球根植物で、さまざまなタイプの花姿や香りを楽しむことができます。1月、ヨーロッパの街角の花店には春の香りの花々を束ねた“Scented Bouquet”が並びます。学名「Narcissus」はギリシャ神話の美少年の名に由来、“ナルシスト”の語源という話は有名。

ツバキ

花言葉	控えめな優しさ／完璧な美しさ

凛とした端正な美しさ
控えめな「椿」に見る日本の美意識

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花やつぼみに傷みがないもの、葉が変色していないもの選びましょう。
■ 生ける際には枝を斜めに切り戻し、さらに枝に縦にハサミを入れて十文字の割れ目にすると水揚がりがよくなります。
■ 部屋が乾燥しているとつぼみが咲かない場合があるので、ある程度の湿度を保ちつつ、なるべく涼しい場所に飾りましょう。

お家で簡単！ 3ステップアレンジ

①ツバキの枝ぶりをよく観察し、花がついた枝、つぼみがついた枝を切り分けます。
②まず、メインになる花のついた枝をあしらいます。花が真正面を向かず、やや左右に振れていると自然です。花の美しい表情を探しながら生けてみてください。
③葉の美しさも魅力なので、葉の向きなども意識しながらつぼみの枝をプラスします。凛と潔いツバキだけの花あしらいを楽しみましょう。

日本を代表する冬の花木

古くは古事記、万葉集にも記される常緑低木。冬から春にかけて咲く楚々とした花にくわえ、艶やかな葉もツバキの魅力です。実から抽出した「椿油」は高級品として重宝されています。江戸時代に盛んに品種改良され、いけばなや茶花に用いられてきました。17世紀末に欧州へ渡り「カメリア」の名で人気を博し、彼の有名なシャネルのモチーフに。

ツバキ

花言葉	控えめな優しさ／完璧な美しさ

凛とした端正な美しさ
控えめな「椿」に見る日本の美意識

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花やつぼみに傷みがないもの、葉が変色していないもの選びましょう。
■ 生ける際には枝を斜めに切り戻し、さらに枝に縦にハサミを入れて十文字の割れ目にすると水揚がりがよくなります。
■ 部屋が乾燥しているとつぼみが咲かない場合があるので、ある程度の湿度を保ちつつ、なるべく涼しい場所に飾りましょう。

お家で簡単！ 3ステップアレンジ

①ツバキの枝ぶりをよく観察し、花がついた枝、つぼみがついた枝を切り分けます。
②まず、メインになる花のついた枝をあしらいます。花が真正面を向かず、やや左右に振れていると自然です。花の美しい表情を探しながら生けてみてください。
③葉の美しさも魅力なので、葉の向きなども意識しながらつぼみの枝をプラスします。凛と潔いツバキだけの花あしらいを楽しみましょう。

日本を代表する冬の花木

古くは古事記、万葉集にも記される常緑低木。冬から春にかけて咲く楚々とした花にくわえ、艶やかな葉もツバキの魅力です。実から抽出した「椿油」は高級品として重宝されています。江戸時代に盛んに品種改良され、いけばなや茶花に用いられてきました。17世紀末に欧州へ渡り「カメリア」の名で人気を博し、彼の有名なシャネルのモチーフに。

使っている花 ■ スイートピー「グレース」「パールホワイト」、ダスティーミラー

1月 January

スイートピー

花言葉	門出／優しい思い出

心浮き立つ恋の花
フルーティーで軽やかな香り

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花弁が透けていない、フリルのしっかりしたものを選びましょう。
■ 必ず茎を切り戻してから活けましょう。切り花栄養剤の使用で長く楽しめます！
■ 涼しい場所に飾り、傷んだ花は早めに摘み取ってください。
■ 乾燥が苦手なので、エアコンの風が直接当たらない場所に飾りましょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

①今回は2色のスイートピーを混ぜ合わせて水彩画のような透明感のある色合いを楽しむアレンジに。10本〜15本ほどのスイートピーの長さを、あらかじめ同じくらいに揃えます。
②色のバランスを見ながら手元でスイートピーを束ね、そのまま花器に生けます。花器の手前にスイートピーがあふれるようにあしらいましょう。
③短めにカットしたシルバーリーフのダスティーミラーを花器の口元にプラスして、スイートピーの透明感を引き立たせましょう。

甘く香るフリルの妖精

フルーティーな甘い香りをふりまくように咲く花姿は、ひらひらと舞う蝶のよう。冬場でも日照量の多い温暖な地域で生産されます。生産、品質共に世界一を誇る日本のスイートピーは、海外でも高評価！昨今はシックなアンティーク調の染めも人気です。1月21日はあの名曲にちなんで「スイートピーの日」に。

使っている花 ■ スイートピー「グレース」「パールホワイト」、ダスティーミラー

1月 January

スイートピー

花言葉	門出／優しい思い出

心浮き立つ恋の花
フルーティーで軽やかな香り

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花弁が透けていない、フリルのしっかりしたものを選びましょう。
■ 必ず茎を切り戻してから活けましょう。切り花栄養剤の使用で長く楽しめます！
■ 涼しい場所に飾り、傷んだ花は早めに摘み取ってください。
■ 乾燥が苦手なので、エアコンの風が直接当たらない場所に飾りましょう。

お家で簡単！3ステップアレンジ

①今回は2色のスイートピーを混ぜ合わせて水彩画のような透明感のある色合いを楽しむアレンジに。10本〜15本ほどのスイートピーの長さを、あらかじめ同じくらいに揃えます。
②色のバランスを見ながら手元でスイートピーを束ね、そのまま花器に生けます。花器の手前にスイートピーがあふれるようにあしらいましょう。
③短めにカットしたシルバーリーフのダスティーミラーを花器の口元にプラスして、スイートピーの透明感を引き立たせましょう。

甘く香るフリルの妖精

フルーティーな甘い香りをふりまくように咲く花姿は、ひらひらと舞う蝶のよう。冬場でも日照量の多い温暖な地域で生産されます。生産、品質共に世界一を誇る日本のスイートピーは、海外でも高評価！昨今はシックなアンティーク調の染めも人気です。1月21日はあの名曲にちなんで「スイートピーの日」に。

WEEKEND
FLOWER

使っている花 ■ シレネ「サクラコマチ」、レースフラワー「ダウカスボルドー」、ユーフォルビア「白雪姫」、タラスピオファリム（ナズナ）

1月
January

シレネ

花言葉 | 誘惑

愛らしいサクラ色の小花たち
ふわっとナチュラルなインテリアに

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花が咲きすぎていない鮮度の良いものを選び、購入時は必ず保水してもらいましょう。
■ 万が一、水が下がってクタっとしてしまったら「湯あげ※」が有効です。
■ 切り花栄養剤の使用で長く楽しめます。
※「湯あげ」とは：花全体を新聞紙で包み、茎を切り戻して、その切り口を熱湯に10秒ほど浸けてから深めの水に入れます。30分位でしっかりと水があがります。

お家で簡単！3ステップアレンジ

①シレネ、レースフラワー、タラスピオファリムなど、ナチュラルな風合いの草花を数本ずつ集めます。あらかじめ水に浸かる部分の葉を取り除いておきます。
②庭で摘んできた花をざくっと飾るようなイメージで、花を長いまま束ねます（麻ヒモや輪ゴムなどで結んでも結ばなくてもOKです）。
③花器の高さの約2倍くらいの長さに整え、ふわっとあしらいましょう。

優しいピンクではじまる春

ヨーロッパ原産の小さなナデシコのような花が愛らしい草花。茎から粘液が出ることから「虫取りナデシコ」の別名もあり、花言葉も可憐な花姿に似合わず「誘惑」とか。切り花では園芸種の“サクラコマチ”とベル状の“グリーンベル”の2種が流通。野の花がなくなる冬場から早春に、ナチュラルな雰囲気を演出してくれる花材として人気再燃中。

WEEKEND
FLOWER

使っている花 ■ シレネ「サクラコマチ」、レースフラワー「ダウカスボルドー」、ユーフォルビア「白雪姫」、タラスピオファリム（ナズナ）

1月
January

シレネ

花言葉 | 誘惑

愛らしいサクラ色の小花たち
ふわっとナチュラルなインテリアに

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花が咲きすぎていない鮮度の良いものを選び、購入時は必ず保水してもらいましょう。
■ 万が一、水が下がってクタっとしてしまったら「湯あげ※」が有効です。
■ 切り花栄養剤の使用で長く楽しめます。
※「湯あげ」とは：花全体を新聞紙で包み、茎を切り戻して、その切り口を熱湯に10秒ほど浸けてから深めの水に入れます。30分位でしっかりと水があがります。

お家で簡単！3ステップアレンジ

①シレネ、レースフラワー、タラスピオファリムなど、ナチュラルな風合いの草花を数本ずつ集めます。あらかじめ水に浸かる部分の葉を取り除いておきます。
②庭で摘んできた花をざくっと飾るようなイメージで、花を長いまま束ねます（麻ヒモや輪ゴムなどで結んでも結ばなくてもOKです）。
③花器の高さの約2倍くらいの長さに整え、ふわっとあしらいましょう。

優しいピンクではじまる春

ヨーロッパ原産の小さなナデシコのような花が愛らしい草花。茎から粘液が出ることから「虫取りナデシコ」の別名もあり、花言葉も可憐な花姿に似合わず「誘惑」とか。切り花では園芸種の“サクラコマチ”とベル状の“グリーンベル”の2種が流通。野の花がなくなる冬場から早春に、ナチュラルな雰囲気を演出してくれる花材として人気再燃中。